



令和8年度

# 園だより 6月号

杉並区立下高井戸子供園

教育目標 “しあわせいっぱいの子供園”

〇もりもりそだつげんきなからだ 〇たいせつななかとじぶん 〇かんじるこころとあたま

「 $1 + 1 = 2$ 」だけではない答え

園長 原 麻弓

今、世の中はまさにデジタル化です。

子供園での業務もその波に乗って、デジタル化、ペーパーレス化が求められています。

保護者の皆様にご利用いただいているキッズビューもその一つです。登降園の打刻、手紙の配信などを通して、出欠席の集計のデジタル化やペーパーレス化につながっています。便利さとエコの利点など“機械でできることの良さ”を職員も感じているところです。

一方で大切にしたいのは、「人だからできること」「実体験だからできること」です。

機械や AI に聞けば教えてくれる答えはいつでも誰でも知ることができます。子供園で過ごす幼児期は、「 $1 + 1 = 2$ 」はそんなに大切ではありません。

この時期、園庭にたくさん落ちている梅の実集めが大好きな子どもたち。

“私の持っている梅の実 1 個とあなたの持っている梅の実 1 個を合わせたら 2 個！”の中にも、機械では教えてくれないことがたくさん隠れています。



梅の実のふわふわした手触り、ほのかに香る甘酸っぱいにおいては、実際に梅の実に触れなければ感じられるものではありません。

友達と同じものを持って微笑み合う瞬間は、人と共に生きていく喜びの第一歩です。

「2 個!」「にこ?!」「にこにこ! なんだか楽しいね。」と、言葉の面白さを感じることにもつながります。

子供園では「人だからできること」「実体験だからできること」を大切に、幼児期の今こそ育てておきたい力を見極め、お子様をお預かりします。

6 月下旬からは水遊び・プール遊びが始まります。安全を最優先に取り組んでまいります。持ち物などのご協力をよろしくお願いいたします。

～お知らせ～

新しく職員が仲間入りました!

朝保育補助 吉澤玲子

調理(東都給食) 石川舞

よろしくお願いいたします。

## 【6月の保育】

### 年少うさぎ組

好きな遊びを見付けて楽しむ姿が増えてきました。保育者と関わりながら安心して過ごす中で、のりなどの新しい用具にも触れ、様々なことに対して「やってみたい」という気持ちが広がっています。

今月は、製作の素材やウレタン積み木を組みあわせてできた形を見立てたり、身近な虫や動物になりきって動いたりして、一人ひとりが自分なりに表現する面白さを感じられるようにしていきます。

後半から始まるプール・水遊びで水の感触を楽しんだり、解放的に遊ぶ楽しさを味わえるようにしていきます。

### 年中くま組

暑い日は、砂場で裸足になり、穴を掘って、そこに水を溜め、手や足を濡らして遊ぶことを楽しんでいます。また、園庭の花びらや葉っぱを見つけて「いいもの見つけた!」と喜び、素敵な飾りにして保育室に飾っています。室内では中型積み木を構成して遊びます。先生や友達と一緒に、どうやってつくっていくか考えながら取り組んでいます。

これから雨の日が多くなります。ホールや廊下等を活用し、巧技台やマットを使って体を動かしたり、学級のみんなでゲームをしたりして楽しむ時間も大事にします。

後半からは、プール遊びが始まります。水と触れ合う心地よさを味わえるようにしていきます。また、着替えの仕方や自分の体を守ることについての指導も進めます。

### 年長ぞう組

新しく使えるようになった遊具（大型積み木やキングブロックなど）を使って遊ぶことが嬉しいぞう組です。「それいいね!」「どうやって作ったの?」と友達のアイデアを取り入れたり、友達と一緒に乗り物をつくったりする姿もあります。学級全体での活動でも、“友達と一緒にする楽しさ”や“友達とのつながり”を感じられるようにしています。

今月も引き続き、「自分の思いを言葉に表すこと」「友達に伝えようとする事」「相手の話を聞こうとすること」を大切に、幼児同士で気持ちを伝え合う場面を支えていきます。

『わくわくランド』に向けて遠足での共通体験や日々の遊びから、友達と一緒に“わくわくするような遊び”を考えて準備を進めています。自分たちでお店を作り、友達やうさぎ組さん、くま組さんを招き、作ったもので遊んだり、いろいろな人と関わったりする楽しさを味わえるようにします。

後半には水遊び、プール遊びも始まりです。水と親しみ、解放感を味わえるようにします。

